

まちの話題

町的话题を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

■連絡先
総務課企画財政グループ
(広報担当)
電話 25 - 2131
FAX 25 3571

kysomu@town.kiyosato.hokkaido.jp

清里の水を使用したオリジナルビールを「サツポロビール」が販売

昨年に引き続きサツポロビール(株)と網走支庁のタイアップによる「オホーツク産の大麦と水を使ったオリジナルビール」が、7月21日から札幌・大通り公園で開催されるビアガーデンで販売されます。このオリジナルビールに使用する「水」に、日本百名山



斜里岳のふもとで湧き出る天然水「清里の水」を採供し、6月12日に焼酎工場から約4千5百リットルが大型トラックで搬送されました。

オリジナルビールは、町内で7月25日(金)開催のサrfesta・ビアガーデンと8月1日(金)開催のガーデンアイランド北海道2008 in 清里・参加者交流会でも味わうことができます。

「日野皓正クインテットサマーライブ」開演

6月11日プラネットステージ公演として、「日野皓正クインテット北海道サマーライブ08」が行われました。東京・ニューヨークを活動拠点とする世界的ジャズトランペット奏者の日野皓正さんの初の北海道ツアーとして行われたこのライブには、町内外から約350名の観客が集まり、中には開演の1時間以上も前から並ぶお客さんの姿も見られました。

ライブでは、全9曲のジャズナンバーが披露され、ジャズクラブの雰囲気や再現したステージ演出と緊張感あふれる迫力の演奏で観客を魅了しました。



「木製大型プランター」を網走支庁と網走開発建設部に寄贈

6月13日、町と「花と緑と交流のまちづくり委員会」、町内の事業者6社で構成される「清里町ウッドクラフト研究会」(会長 渡辺忠さん)がカラマツ間伐材で製造した「大型木製プランター」を網走支庁と網走開発建設部に2基づつ寄贈しました。常緑樹「ニオイヒバ」と花々で飾られた大型プランターが両庁舎の玄関前に設置され、網走支庁で行われた贈呈セレモニーでは、橋場町長から平塚努・網走支庁長に目録が手渡され、平塚支庁長から「玄関口を飾るすてきなプランターと花をいただいた。しっかりと管理をしたい」とお礼の言葉が述べられました。

「清里町ウッドクラフト研究会」で製造しているプランターは、大型から小型の物まで数種類あり、町の新なたん特産品となることが期待されます。



今年も町が花と緑につつまれます

今年も6月1日から9月30日までの4ヶ月間開催される「きよさと花・みどりフェスタ」が始まり、市街地の花プランターや道道植樹帯など、街のなが花で彩られています。



花の苗植え作業はフラワーマスターや商店街、自治会の方々を中心に行われました。6月11日には、自治会女性部連絡協議会の呼びかけで、清里小学校児童により「道道植樹帯の苗植え」が行われました。参加したのは、清里小学校6年生27名と、自治会女性部連絡協議会や周辺住民の皆さん約20名。「メランポジウム」「アリッサム」などの花苗5種類千600本が通学路となる道沿い約200mの植樹帯に植えられました。自治会女性部連絡協議会の水本正子さんは「子供たちが、私たちと一緒に植えた花を見ながら登校してくれたら嬉しい」と語ってくれました。今年も周辺住民の皆さんが里親として水やりや雑草取りの管理にご協力いただきま



す。また、6月2日には「上斜里フラワーロード推進協議会」の皆さんによるコスモスの播種作業が行われました。今年も道道摩周湖斜里線約3・5キロの沿道に咲くコスモスが旅行者の方の目を楽しませてくれることでしょう。

清里町全体がいよいよ美しい花のシーズンを迎えました。たくさんのお花々が競い合うように一斉に咲き誇り、多くの方をお迎えします。

「わんぱくジュニアクラブ」が開催されました

6月14日、トレーニングセンターを会場に、教育委員会主催の「わんぱくジュニアクラブ」が開催されました。この事業は子供たちに様々なレクリエーションスポーツに親しむ機会を提供し、自主的にスポーツ活動へ参加する力を養おうと、町内の小学生を対象に13年前から行われています。



この日は、小学生50名が参加し、体力測定が行われました。子供たちは、体育指導員の指導により握力測定・反復横跳びなど5種類の測定を行いました。今後は「水中ゲーム」や「オリンピックク」などが計画されています。

「さくらの山をみんなの手で、緑の植樹事業」が行われました

5月31日、16号スキー場跡地を会場に「緑の植樹事業」が開催されました。この事業は、花と緑と交流のまちづくり委員会（委員長 三上政夫さん）と町の共催により、全町を木々の緑でつなぐ「緑の回廊」づくりと、環境問題に配慮した「二酸化炭素の吸収源となる森づくり」をテーマとし、町民や旅行者の手によって植樹活動を行うものです。



この日は、自治会女性部連絡協議会や清里ロータリークラブ、陸上少年団の子どもたちなど、約200名が参加し、さくらの苗木約150本を植樹しました。今年の植樹には、「ニトリ北海道応援基金」からの助成を受けましたが、この事業は今後3ヶ年間計画で行われ、将来はこの地が清里町の新たな「桜の名所」となることが期待されます。

清里オートキャンプ場がオープン

清里オートキャンプ場が、6月20日にオープンしました。キャンプ場は秀峰斜里岳を一望できる江南の丘陵地に位置し、隣接するパークゴルフ場が、今年は全面オープンしました。また展望台から眺める景色や天空に広がる満天の星空は、毎年多くの来客者を魅了しています。施設は、センターハウスをはじめコテージ5棟、バンガロー7棟とテントサイトが整備されており、学校キャンプから日帰りのデイキャンプまで幅広く利用できます。キャンプ場は9月7日までの営業となっております。多くの来場を期待しています。



農作業のあいまに 楽しいひととき

6月18日、トレーニングセンターを会場に、第7回「農協女性部スポーツレクリエーション」が行われ、約190名の部員の皆さんが参加しました。競技は、借物競争や「パン食い競争」など8種目。女性部の皆さんは日頃の忙しい農作業を忘れ、楽しいひとときに汗を流しました。



焼酎フェスティバルが大盛況

6月22日、焼酎工場前ふれあい広場で、第22回焼酎フェスティバルが行われ、町内外から多数の方が訪れました。このフェスティバルは、毎年商工会の主催で開催されていますが、この日は、あいにくの天候にもかかわらず、町内外からの来場者で大盛況となりました。

「きよさと焼酎ドリンクコーナー」では1杯百円できよさと焼酎各種が販売されたほか、「青空市場」では、清里産牛肉などが販売されました。また、6月に発売された「清里の水」にちなんだ「清里の名水当てクイズ」や、地元産そば粉を使用した「清里産そば早食い大会」などのゲーム大会も行われ、町の特産品が大きくPRされました。



「花の駅長さん」がおもてなし

6月20日、清里町内の「JR3駅」と「道の駅パラスラドさつる」に、清里高校や清里町駅なごみ会、ボランティアサークルたんぼぼ、札幌地域活性化協議会、緑自治会の皆さんの協力により、色とりどりの花で飾られたプランターが設置されました。この日は、JR北海道から各団体に「花の駅長さん委嘱状」が伝達され、期間中の花の管理も各団体が行います。



街の顔であり旅の出入り口でもある「駅」を花で飾り、心づくしのおもてなしで「花の駅長さん」が来町者をお迎えます。

きよさとスクールバンド フェスティバルを開催

6月22日、プラネット97で第3回「きよさとスクールバンドフェスティバル」が行われました。清里小学校金管バンド、清里中学校吹奏楽部、清里高校吹奏楽部の皆さんにより、「学園天国」他全5曲が演奏されました。生徒たちは日頃の練習で磨いた腕前を観客の皆さんの前で披露し、たくさんの拍手を浴びていました。



また、客演として札幌交響楽団オーボエ首席演奏者の岩崎弘昌氏の演奏も披露され、フェスティバルに花を添えてくれました。

子どもたちと家族、地域が一体となった運動会

6月は運動会シーズン、町内の各小中学校・保育所では、この日のために一生懸命練習した踊りや、全力疾走した徒競走など、きらりと輝く子どもたちの姿が見られました。また、各学校では子どもたち、家族、そして地域が一体となって、それぞれ特色を活かした楽しい競技で盛り上がりました。



清里保育所



緑保育所



新栄保育所



札弦保育所



新栄小学校



江南小学校



清里小学校



緑町小学校



光岳小学校



清里中学校